



# イエス団東日本大震災救援対策本部 活動報告書

発行所: 社会福祉法人・学校法人イエス団 東日本大震災救援対策本部

発行者: 対策本部長 平田 義

〒651-0076 神戸市中央区吾妻通 5-2-20 TEL: 078-221-9565 FAX: 078-221-9566

vol. 5

http://www.jesusband.jp e-mail: saigai-sien@jesusband.jp

2012/5/22

イエス団東日本大震災救援対策本部の働きにご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。  
 2011年3月11日の大震災発生から1年と2か月が経過し、救援、支援の在り方も次の段階に入っています。  
 避難所の生活、孤独死の問題、子どもたちの心のケア、コミュニティーの崩壊、まちの再生……。  
 今だからこそ、私たちに何ができるかを考えないといけないのではないかと、阪神淡路大震災を経験した私たちが  
 できることがあるのではないかと、もう一度、心を東日本に向けたいと思います。引き続き、ご支援、ご協力をお願いします。

## ～ 活動一覧 (5月22日現在) ～

活動(支援)場所	活動日(期間)	イエス団施設名	活動内容
岩手県、宮城県の一部の保育所	・4月7日～7月2日	・馬見労働保育園	保育備品を収集し、被災された保育園・施設へ送付
①岩手県宮古市	・6月18日～22日	・賀川記念館	現地視察、障がい者施設支援のための情報収集
②岩手県大槌町	・8月4日～8日	・法人本部事務局	大槌町包括支援センター 支援活動
③岩手県陸前高田市	・6月28日～7月2日	・ガーデンエルロイ	泥だし、瓦礫撤去等、日常生活への復旧作業
	・7月5日～9日	・ガーデンエルロイ	泥だし、瓦礫撤去等、日常生活への復旧作業
④宮城県仙台市	・9月6日～8日	・聖浄保育園	被災者支援コンサート
	・9月7日～10日	・京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」	泥だし、瓦礫撤去等、日常生活への復旧作業
	・9月13日～21日	・愛隣デイサービスセンター	障がい者生活支援、炊き出し、引っ越し手伝い
⑤宮城県石巻市	・4月4日～10日	・愛隣デイサービスセンター	障がい者生活支援、炊き出し、引っ越し手伝い
	・4月20日～27日	・愛隣デイサービスセンター	障がい者生活支援、炊き出し、引っ越し手伝い
	・5月10日～14日	・ガーデンエルロイ	泥だし、瓦礫撤去等、日常生活への復旧作業
	・6月3日～4日	・愛隣デイサービスセンター	障がい者生活支援、炊き出し、引っ越し手伝い
	・6月18日～19日	・愛隣デイサービスセンター	障がい者生活支援、炊き出し、引っ越し手伝い
	・6月23日～30日	・愛隣デイサービスセンター	障がい者生活支援、炊き出し、引っ越し手伝い
⑥宮城県東松島市	・5月16日～20日	・ガーデンエルロイ	泥だし、瓦礫撤去等、日常生活への復旧作業
⑧宮城県宮城郡	・11月14日～25日	・宇山光の子保育園	泥だし、瓦礫撤去等、日常生活への復旧作業
⑦福島県猪苗代町	・8月1日～6日	・京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」	障がい児・者相談支援
	・8月22日～27日	・京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」	障がい児・者相談支援
⑨福島県泉崎村	・2月6日～10日	・愛隣デイサービスセンター	精神障がい者支援
⑩福島県南相馬市他	・3月14日～20日	・神戸イエス団教会	被災保育園児への人形劇公演と交流
京都市伏見区	・6月19日	・愛隣館研修センター	向島ほっこりフェスタにて被災障がい者施設製品販売
京都市伏見区	・7月9日	・愛隣館研修センター	あいりんまつりにて被災障がい者施設製品販売
神戸市中央区	・5月15日	・賀川記念館	賀川記念館周辺地域の救援活動報告会
	・8月10日～	・賀川記念館	被災障がい者施設製品販売
六甲山YMCA	・6月17日～18日	・イエス団法人研修会	ブラッシュアップ研修にて被災障がい者施設製品販売



## ～ 活 動 報 告 ～

### ●福島県泉崎村

#### 東日本大震災被災地精神障害者支援連携事業【2月6日～10日】

2012年2月6日～10日、社会福祉振興助成事業「東日本大震災被災地精神障害者支援連携事業」の一環として、栃木県に近い福島県泉崎村派遣の機会を与えられた。今回派遣された、社会福祉法人「ころん」では、“その人らしい地域での暮らしを支える”をモットーに主に精神障がいがある方を対象に就労支援、生活支援、活動支援等が行われている。

「応援隊」と称された私たちは、そこで実習生のように温かく迎え入れられ、当事者や職員との語らいを中心にパウンドケーキ作り、内職作業、野菜直売所の手伝いをしながら5日間を過ごした。お互いの距離が近づき始めた頃、震災時の話を少し伺ったが、泉崎は福島県の中通りに位置し、甚大な被害のあった浜通りとは立地も気候も異なるとのことで、震災2日後から再開されたとのこと。その一つをとってみても、現地の方との語らい無しに、テレビニュースを鵜呑みにし、知ることを怠っていた自身を省みる機会となった。

愛隣デイサービスセンター(京都市伏見区)  
辻 早苗

### ●宮城県亘理町、福島県南相馬市、岩手県宮古市

#### 被災地保育園児への人形劇公演と交流【3月14日～20日】

京都を拠点に日本全国に講演活動中の「あやつり人形劇団」の飯村康一さんを中心に宮城県、岩手県、福島県の被災地にある保育所園児に人形劇を通じた交流を深めてきました。それぞれの保育園では、めずらしいあやつり人形に腹話術、また、楽器や歌あそびなどで大変盛り上がり喜ばれました。園の先生方からは、3.11後の園の対応や、園児の様子、現状など多く聞くことができました。



現在は仮設の園舎のため、早く安全な新しい園舎に移れる日を待っているそうです。特に

福島県南相馬市では保育園のある一帯が、放射線の線量が多く、室内でしか保育ができず原発事故の影響で未だに先行きが見えない状況であるとのことでした。各園には半日ほどの短い交流の時間でしたが、またぜひ再度来てほしいと別れを惜しまれながら東北の地を発って来ました。

日本基督教団神戸イエス団教会会員 (神戸市中央区)  
加藤 鉄三郎



### ★被災地の「ガラス」でつくった細工★

今回、東日本大震災のボランティア活動に参加させて頂いて感じた事・学んだ事がたくさんありました。その中で感じた事は自分自身の力のなさでした。今回一緒に活動させて頂いた方のお話の中で「僕は何も出来なかった。」に対して「今までのたくさんのボランティアがいて今日まで続いている。誰か一人でもい



なかったらそこで終わってしまう。」といわれた事がすごく印象に残っています。僕が今まで参加した中で出来た事、そしてその後は何をしていたか？今考えると行って帰ってそれっきりになっていたなと思います。僕に出来る事は、『今までのたくさんのボランティアで繋いできたものを少しでも次に伝えていく事』ではないかなと思いました。

現地では震災関連の生活に密着したニュースをたくさん放送していますが、それに比べて関西では震災関連のニュースはどんどん少なくなって来ています。僕自身も気持ちも少しずつ薄くなってきているように思います。このまま忘れられてしまわないように、今の僕に出来る事は何だろう と思い、考えついたのがこのストラップです。ボランティア活動をさせていただいたお宅から頂いたガラスのカケラで作りました。震災で起こった事を心の中に留めてもらえれば、(身



に付けやすい形にした方が一人一人にいつまでも忘れないのではないか)と思いストラップにしました。現場に行ってみて感じた事・学んだ事を少しでも多くの人に伝え、そして次に繋がるきっかけになればと思っています。又、それだけでなく、クリスマスにはガラスのカケラをクリスマスツリーにして飾ったり、防災をクイズ形式にして保育園の子ども達に話をしています。子どもたちは興味をもって、聞いてくれています。子どもたちは保護者にこの話をして、ストラップを買って貰ったり、自分のお年玉で買ってくれたりもしています。なかなかうまく伝わらない部分や一過性なものになってしまいがちですが、今後も僅かではありますが体験させて頂いた事を生かし、自分に出来る事をもっと見つけ、たくさんの人と協力しながらみんなが幸せになれるようにこれからも永く活動していきたいと思っています。

宇山光の子保育園 (大阪府枚方市)  
荒木 健

## ～ 募 金 状 況 ～

「イエス団震災救援対策本部」ではイエス団関係各所に対し、被災された方々への救援のための活動資金や義援金のため1千万円を目標金額とし募金活動を行っております。現在までに集まりました募金状況をお知らせいたします。これまでに集まった募金 **135口 ¥7,193,264-**

(5月22日現在)

**目標の1,000万円まで、¥2,806,736-**

《以下に募金いただきました方々に感謝の意をもって掲載させていただきます。(12月23日～5月22日現在)》

イハラ マイコ、甲子園二葉幼稚園、田村 三佳子、杉の子保育園、のぞみ保育園、正垣 幸一郎、馬見労務保育園、梅村 貞造、賀川記念館、豊島ナオミ荘、天使保育園、天使虹の園、宇山光の子保育園、愛之園保育園、聖浄保育園、日本基督教団西宮一麦教会、天国屋カフェ、光の子保育園PTA、ぶどうの木保育園、リーダーシップ養成研修参加者一同、

【順不同、敬称略】

ご支援をいただき感謝申し上げます。目標金額まで募金活動を行っていきたく思いますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。※記載に関しては、万全を期しておりますが万一記載漏れがございましたら上記までご連絡ください。

## 【募金振込先】

・郵便(ゆうちょ銀行)振替口座 口座番号:01140-8-75472 加入者名:社会福祉法人イエス団

\*郵便振替の場合は通信欄に、「東日本大震災救援募金」と明記してください。

・三井住友銀行 三宮支店 普通預金:9206516 口座名:社会福祉法人イエス団

## ～ 募 金 送 付 の お 知 ら せ ～

皆様のご協力、ご支援により集められました募金の一部を、下記団体へ送付させていただきましたのでご報告させていただきます。

送付日	送付先団体名	活動(支援)内容	送付金額
2012年5月2日	一般財団法人 東北ディアコニア (東北ヘルプ)	民生支援活動(被災者の心のケアや生活相談など)	¥100,000-
2012年5月2日	一般財団法人 東北ディアコニア (東北ヘルプ)	食品放射能計測所支援	¥100,000-
2012年5月2日	一般財団法人 東北ディアコニア (東北ヘルプ)	外国人被災者支援	¥100,000-
2012年5月7日	会津放射能情報センター	「放射能から子どものいのちを守る」支援活動	¥500,000-

今後も集まりました募金は、イエス団救援対策本部の活動理念にそった支援活動をされているところに、ご送付させていただきますと思います。つきましては、募金活動にご協力いただいております皆様からの情報も趣旨をご理解の上、救援対策本部までお寄せください。

## 『まけるもんか岩手！マグカップ』 完売のご報告

昨年10月より岩手県内の被災された障がい者施設等の支援のため、イエス団全施設で取り組んでおりました、「まけるもんか岩手！マグカップ」1040個を2012年4月をもって無事に完売いたしました。各施設の職員の皆様や利用者の方々、また各施設で実施されたバザー等でも販売のご協力をいただき感謝申し上げます。

このマグカップの売り上げは、岩手県内の障がい者福祉事業所の利用者及び地域生活者の生活・余暇支援活動に必要な物品購入や、とくに被災の大きかったグループホーム等生活者への支援等にも活用されます。

また、下記に岩手県知的障害者福祉協会より感謝状をいただきましたので、併せてご報告いたします。

### 『まけるもんか岩手！マグカップ』 絶賛販売中！

～ イエス団救援対策本部 支援活動 ～



### 東日本大震災支援

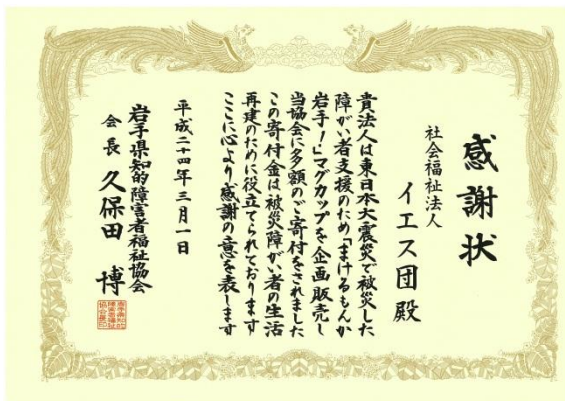
あなたのエールを岩手に！

1個 500円！『まけるもんか岩手！マグカップ』の購入を通じて岩手へエールを送りませんか。

イエス団東日本大震災救援対策本部では、支援活動の一環として、「まけるもんか岩手！のマグカップ」の販売協力をさせていただいております。一人でも多くの方にご購入いただき、岩手の方々へエールを送りたいと思います。是非ご購入ください。また、このマグカップの売り上げは「東日本大震災関西障害者応援連絡会」を通じ、岩手県内の障害者福祉事業所の利用者及び地域生活者の生活・余暇支援活動に必要な物品の提供、とくに被災の大きかったグループホーム等生活者への支援等に活用させていただきます。



【名】 東日本大震災支援『まけるもんか岩手！マグカップ』  
 【企画】 東日本大震災関西障害者応援連絡会  
 【デザイン】 岩手県社会福祉協議会障がい者福祉支援センター  
 子役イラストレーター 岡田 寛子  
 【製】 名】 山本大樹商店（岐阜県土岐市）  
 【製】 名】 岩手県知的障害者福祉協会・岩手県社会福祉協議会（各福祉協議会）（岩手県支援プロジェクト）  
 東日本大震災関西障害者応援連絡会・各地の団体  
 【東日本大震災関西障害者応援連絡会事務局】  
 なまののの（奈良県橿原市） せいりな（奈良県生駒市） どうぞ（奈良県山辺町）  
 アクティビティセンター（奈良県生駒市） もつちもつち（奈良県大和郡田原町）  
 マーブル（奈良県） 利はらう（奈良県） 障がい（奈良県） クリエイティブ・グラフィックスタジオ（大阪府堺市）  
 ペタスタの家（京都府伏見区） イエス団 堺障がい（京都府堺区）  
 精華福祉会（京都府精華町） 西祥会（京都府上野区）



【ご購入に関するお問い合わせは】  
 愛隣デイズサービスセンター：TEL:075-621-3849 または、イエス団各施設まで

## ～ イエス団 の 理 念 ～

### ミッションステートメント2009

わたしたちイエス団の実践は、1909年12月24日の賀川豊彦の献身に始まる。そして、イエスの愛に倣い、互いに仕えあい、社会悪と闘い、新しい社会を目指して多くの協働者とともに今日まで歩み続けてきた。この歴史を検証し、働きを引き継ぎ、今、わたしたちはイエスに倣って生きる。

- わたしたちは、いのちが大切にされる社会をつくりだす
- わたしたちは、隣り人と共に生きる社会をつくりだす
- わたしたちは、違いを認め合える社会をつくりだす
- わたしたちは、自然が大切にされる社会をつくりだす
- わたしたちは、平和をつくりだす

2009年12月24日  
 社会福祉法人イエス団  
 学校法人イエス団